

令和4年度に実施した主な取り組み

11.12[土]

NPO法人コミュニティリンク デジタル×防災勉強会

NPO法人コミュニティリンクは、高度なICTの技能や知識を活用して、地域が抱える課題の解決に向けたプロジェクトを推進する団体です。昨年8月の大雨による災害などを事例に、デジタル技術を活用してどのような防災に取り組んでいくか、「防災のこれからを考える」をテーマとした勉強会をにぎわい番所ぷらっとで開催しました。勉強会には、被災した農家や町関係者も参加し、意見交換などを通して理解を深めました。



11.18[金]
→ 11.19[土]

パナソニック(株) 西会津中学校 × Panasonic ILLUMME体験会

STEM教育の一環として、パナソニック(株)が開発中の最新技術「ILLUMME」を使った体験会を西会津中学校で開催しました。生徒の皆さんが、2日間にわたってプログラミング教材で光を操り、自分たちのイメージを形にしていく作品づくりを行いました。



12.5[月]
→ 12.7[水]

電通(株)

フィールドワーク・ヒアリング・ハッカソン

広告メディア関連会社の電通(株)と筑波大学発のベンチャー企業である(株)アラレグミは、上記の日程で町に滞在しながら、町内の施設などでフィールド

12.9[金]
→ 12.11[日]

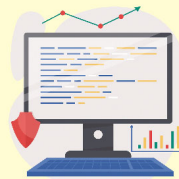
(株)アラレグミ

ワークを行ったり、町内事業者や関係者へのヒアリングを実施したりしながら、ハッカソンと呼ばれる開発作業などを行いました。

用語解説

STEM教育=科学・技術・工学・芸術・数学の5つの英単語の頭文字を組み合わせた造語。5つの領域を対象とした理数教育に創造性教育を加えた教育理念。
フィールドワーク=ある調査対象について研究をする際に、そのテーマに即した場所を実際に訪れたり、関係者に聞き取りやアンケートを行ったりする調査方法の1つ。

ヒアリング=相手の話を聞いて情報を収集すること。聞き取り。
ハッカソン=ハックとマラソンを組み合わせた造語。プログラマーや設計者などのソフトウェア開発者が、短期間に集中的に開発作業を行うイベントのこと。



新たな「仕事」づくりで

広がる「可能性」

町では、最大の課題である「人口減少」に対し、移住者や定住者の増加などに向けたさまざまな取り組みを行っています。
今月号では、その課題解決の1つとして、町デジタル戦略に基づいて実施している「首都圏等企業関係構築事業」について紹介します。

西会津町を知ってもらい関係を築いていく
本町は、人口減少と少子高齢化が急速に進み、産業や観光の振興、移住定住の促進などによる地域の活性化が課題となっています。町では、課題解決のための移住定住施策の1つに、「働く場の確保・創出」を目的とした、町外企業の町への移転に向けた取り組みを進めています。
従来の企業移転に向けた取り組みといえば、町内施設や通信環境といった環境整備が主な取り組みでした。町ではそれらだけでなく、コロナ禍によって変化した働き方を見据えた企業移転に向け、町の魅力や資源、企業移転の利点などをオンライン説明会やSNSで積極的に情報発信してきました。これらを経て、令和3年度からは次のような事業を実施して、企業との継続した関係構築に取り組んでいます。

【令和3年度】西会津町視察交流ツアー

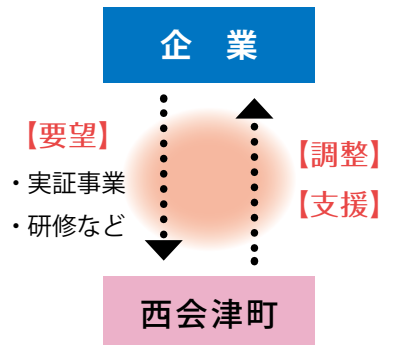
説明会などを経て視察希望のあった企業を対象に1泊2日の「西会津町視察交流ツアー」を令和3年度に開催し、ICTや広告メディア関連会社など計10社が参加しました。ツアーは企業のニーズ(需要)に応じて計画を立て、町の施設や取り組みの視察、文化などの体験、町内企業や町民の皆さんと意見交換などを行いました。参加した企業からは「当社の技術を活用した事業を検討していきたい」「インターン向けの合宿に利用してみたい」などといった声が寄せられました。



▲にぎわい番所ぷらっとを視察する様子(令和3年撮影)

【令和4年度】首都圏等企業関係構築事業

令和4年度からは、令和3年度の視察交流ツアーで関係を築いた企業と継続した関係の構築に取り組むため、「首都圏等企業関係構築事業」を実施しています。これは、企業のニーズをより詳細に把握し、企業が実証事業や研修などのフィールドとして町を活用する際の支援を行っているものです。本年度は、これまで5社からの要望を受け、町での具体的な活動の調整・実施をしています(内容は3頁参照)。



◎将来的な町への企業移転の実現だけでなく…

企業の技術や知見を生かした共創での地域課題の解決、防災や教育などにおけるデジタル化の推進、関係人口の増加、地域経済の活性化など、さまざまな分野での町の発展が期待されています。